

No. 526  
2015年  
5月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 2015年度支部紹介

\*各支部の詳細は学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/organization.html>をご覧ください。

### ・北海道支部

支部長：山本雅人（北海道大学）  
幹事：西川孝二（北海道科学大学）

### ・東北支部

支部長：中山 明（福島大学）  
幹事：鈴木賢一（東北大学）

### ・中部支部

支部長：金子美博（岐阜大学）  
事務局：(株)シグマフィールド

### ・関西支部

支部長：岳 五一（甲南大学）  
幹事：小出 武（甲南大学）

### ・中国・四国支部

支部長：大橋 守（徳島大学）  
幹事：宇野剛史（徳島大学）

### ・九州支部

支部長：丸山幸宏（長崎大学）  
幹事：来嶋秀治（九州大学）

## ● 2015年秋季シンポジウム（第74回）

日程：2015年9月9日(水)  
場所：九州工業大学（戸畑キャンパス）  
実行委員長：小野廣隆（九州大学）

## ● 2015年秋季研究発表会

日程：2015年9月10日(木)，11日(金)  
場所：九州工業大学（戸畑キャンパス）  
実行委員長：廣瀬英雄（九州工業大学）

## ● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第254回  
日時：2015年5月16日(土) 14:00～17:00  
場所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館  
(W) 809号室

## テーマと講師：

- (1) 「積分幾何の応用としての「被災しないネットワーク」設計法」  
斎藤 洋（NTTネットワーク基盤技術研究所）
- (2) 「Newtonの不等式を用いたオッズ問題の解析」  
松井知己（東京工業大学），穴太克則（芝浦工業大学）

問合せ先：神奈川工科大学 井家 敦

E-mail: [inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp](mailto:inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp)

部会URL：<http://www.orsj.or.jp/queue/>

〔信頼性〕

### ・第1回

日時：2015年5月22日(金) 9:30～11:30  
場所：隠岐島文化会館 <http://www.zaidan-oki.jp/>  
(島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二の2番地)

## テーマと講師：

- (1) 「GPGPUを用いた並列離散イベントシミュレーション研究の動向」  
大原 衛（東京都立産業技術研究センター）

近年、画像処理用のプロセッサ（Graphic Processing Unit: GPU）を汎用処理に用いるGPGPU（General-Purpose processing on GPUs）技術が、様々な理工学分野で注目を集めている。これまでに、GPGPUを用いた連続系シミュレーション（Continuous System Simulation: CSS）の並列化については多くの報告があるが、離散イベントシミュレーション（Discrete Event Simulation: DES）に関する事例は報告が非常に少ない。DESの応用は、待ち行列やネットワーク、論理回路シミュレーションなど、非常に幅広く、これらの分野でも並列化による性能の向上が強く求められている。本稿では、DESの並列化にGPGPUを用いる試みについて、文献調査等から得られた知見を報告する。

- (2) 「共通原因故障を考慮したシステムの評価について」

弓削哲史（防衛大学校）

代表的な従属故障である共通原因故障は、複数の機器が故障する確率を増大させ、時にシステムダウンの主要な原因となる。よって共通原因故障を考慮した信

頼性安全性解析は確率論的リスク解析 (Probabilistic Risk Analysis: PRA) において特に重要である。本講演では、主に原子力発電設備におけるPRAの現状、その中でも共通原因故障を解析するための一般的な手法や問題点を紹介するとともに、より現実的な解析を行うための取り組みを紹介する。

問合せ先：首都大学東京 肖 霄 (シャオシャオ)

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

部会 URL : <http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/socialactivity/index.html>

## ● 新宿 OR 研究会

【第348回新宿OR研究会】

日 時：2015年5月19日(火) 12:00~14:00

場 所：東天紅会議室 (新宿センタービル53F)

講 師：久保幹雄氏 (東京海洋大学大学院海洋工学系  
流通情報工学科 教授)

テーマ：「数理最適化の現在」

\*以下は各回共通

場 所：東天紅会議室 (新宿センタービル53F)

参加費：3,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

## ● 他学協会協賛案内

他学会などが主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、主催学会の会員と同じ費用で参加できる場合があります。詳しくは、各学会にお問合せください。

・日本機械学会関東支部講習会

「変わる！これからの機械工学」シリーズ

第1回「ビッグデータの機械工学へのインパクトを探る」

日 程：2015年5月22日(金)

場 所：日本機械学会会議室

主 催：日本機械学会

協賛学会参加費：会員の参加費が適用されます。

WEB : <http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3662>

## ● 公募案内

(詳細は、各大学のWEB及び、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

・千葉工業大学 社会システム科学部 経営情報科学科

募集人員：教授、准教授、または助教1名

所 属：社会システム科学部経営情報科学科

専門分野：経営学・社会システム工学分野

担当科目：社会システム科学分野の教育研究を行う。

また当学部の上には、社会システム科学研究科マネジメント工学専攻の博士前期課程、博士後期課程があり、大学院での講義も担当することが求められている。学部の主な担当科目は以下のとおりです。「データ解析入門」、「オペレーションズリサーチ入門」、「情報数学」等

応募資格：下記の(1)~(4)を満たす方

(1) 社会システム科学部での教育研究に熱意のある方、(2) 日本語で講義が可能な方、(3) 博士の学位を有する方、(4) 大学院での指導資格を有する、もしくは指導可能な方

着任時期：2016年4月1日

提出書類：以下の書類をA4用紙で提出してください。

書式は自由。(1) 履歴書 (高校卒以降の学歴、学位・称号、職歴、工業所有権、教育業績、社会活動業績 (学会等)、賞罰、住所、電話、電子メールアドレス等を記載のこと)、(2) 研究業績リスト (年号西暦、最新のものから年月順に記載のこと)、(a) 著書 (共著であれば執筆担当の章、ページ等を記載のこと) (b) 研究論文および国際会議 proceedings (査読の有無を明記のこと) (c) 一般講演論文 (d) その他工業所有権等、(3) これまでの研究活動とその内容の要約 (2千字程度)、(4) 教育に対する抱負 (千字程度) (5) 推薦書 (所属学会会員からの推薦書が1通あることが望ましい、複数可)

応募締切：2015年7月31日(金) (当日消印有効)

選考方法：書類による1次選考を行い、選ばれた候補の中から面接(2次選考)のうえ、決定します。面接は8月頃を予定しています。

採否の決定：2015年11月予定

書類送付先および連絡先：〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1

千葉工業大学社会システム科学部経営情報科学科  
科学科長

岩下 基 E-mail: iwashita.motoi@it-chiba.ac.jp

その他：詳細については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/adoption/index.html>

・名古屋大学大学院情報科学研究科 計算機数理学  
専攻 情報数理モデル論講座

**所属**：名古屋大学大学院情報科学研究科計算機数理学専攻情報数理モデル論講座

**募集人員**：助教（テニュアトラック教員）1名

**専門分野**：数理情報学（量子計算理論，量子情報理論，量子測定理論，機械学習，数理統計学，統計的データ解析，組合せ最適化，アルゴリズム，およびその関連分野）

**応募資格**：原則博士の学位を有する（取得見込みも含む）

**職務内容**：同講座の教員と連携し，情報科学の数理モデルの構築と情報の諸問題の数理的解明等の研究を行う。情報科学研究科・情報文化学部・全学教育の授業（数理情報学演習など）および学生の指導を日本語で行う。

**着任時期**：平成27年10月1日以降のできるだけ早い時期

**任期**：原則5年，「名古屋大学テニュアトラック制に関する規程」による。

※規程は以下のリンク先で閲覧できます：

<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/frame/frame110001177.htm>

**給与**：年俸制（名古屋大学年俸制適用職員給与規程による）

**提出書類**：各1部，論文別刷り以外はA4サイズ（1）履歴書（写真貼付。学歴・職歴・所属学会その他を

記入のこと），（2）業績等のリスト（学位論文，査読付き学術誌掲載論文，査読付き会議論文，解説，著書，招待講演，研究費取得実績，受賞・特許・学会活動・社会活動等特記すべき事項，などに分類する。共著者がいる場合は全員の名前を記入する），（3）これまでの研究概要と今後の研究計画（2～3ページ程度，図表を含んでもよい），（4）教育に関する実績と抱負（1ページ程度），（5）応募者に関する所見を求めうる2名の方の氏名・所属・連絡先（E-mail，電話番号等），（6）主要な論文3編の別刷またはコピー，（7）着任可能な時期，（8）その他，選考時に参考になる資料や項目があれば添付可能

**応募締切**：平成27年5月29日（金）必着

**応募に関する問合せ先および応募書類の提出先**：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院情報科学研究科計算機数理学専攻長 松原 洋 電話：052-789-4834 E-mail: yom@is.nagoya-u.ac.jp

※封筒に「情報数理モデル論講座教員公募関係」と朱書し，簡易書留で郵送してください。

**備考**：提出書類は本選考のみに使用し，他の目的には使用しません。選考の過程で講演をお願いすることがあります。研究科について詳しくは<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>をご覧ください。本公募は「国際公募」です。本学では採用に関して男女共同参画に配慮しており，女性の積極的な応募を期待します。

## 2015年度 第1回ORセミナー

## 『統計分析の基本—データを用いて意思決定する方法を学ぼう』

**開催趣旨：**いまや流行り言葉になっている「ビッグデータ」。ORは、定量的な情報から意思決定をすることに強みがあるはずですが、理論研究と実務への適用の両面を目指しているOR学会としても、データを目の前にしたときにひるむことなく、立ち向かえる人を増やしたいと考えています。今回、統計の専門家お二人をお招きし、データを目の前にしたとき、統計分析の観点ではどう対象を捉えて、どう分析しているのか、いくつかの実際の例を交えてご解説いただきます。

**日時：**2015年5月30日(土) 10:25~18:00 (9:45開場)

**会場：**政策研究大学院大学(講義室, 5階) 〒106-0032 東京都港区六本木7丁目22-1

アクセス <http://www.grips.ac.jp/about/access>,

都営大江戸線・東京メトロ日比谷線「六本木」駅または東京メトロ千代田線「乃木坂」駅より徒歩

**コーディネータ：**黒木裕介 (OR学会研究普及委員), 連絡先: kuroky@users.sourceforge.jp

**プログラム**

10:25~10:30 **開会挨拶** コーディネータ

10:30~11:25, 11:40~12:30, 13:40~14:30 **「解析例で見る確率的モデリングのプロセス」**

野村俊一氏 (東京工業大学大学院情報理工学研究所)

確率的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータから、それが生み出される確率的構造を定式化することである。本セミナーでは、保険と地震のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

14:45~15:40, 15:55~16:45, 17:00~17:50 **「因果分析と要因探索のための多変量解析法」**

渡辺美智子氏 (慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究所)

統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。そこでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

17:50~18:00 **閉会挨拶・アンケート記入** コーディネータ

**参加費** (テキスト代込み)：正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

**\*正会員でない賛助会員および非会員/学生非会員は、入会金無料で入会でき(それぞれ正会員/学生会員となる)、2015年度の年会費は免除されます。**

**申込方法：**お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員の別、お支払予定日を記入して、メールにてOR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp までお申し込みください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。

**申込メ切：**2015年5月20日(水) ただし定員になり次第、締め切ります。

**お振込先：**みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通 1530801

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会：**日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・技術計画学会 (JSSPRM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

※詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

## 2015年度年会費納入のお願い

2015年度年会費の請求書を2014年12月に発送いたしました。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

## 学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 2014年度学生会員の方については、10月に学生証pdf送付により確認いたしました。2014年度年会費無料会員対象の方は、引き続き2015年度も年会費無料対象となります。

## 学生会員から正会員への変更

学生会員はご卒業やご就職により、2015年4月から社会人になる場合でも、2016年2月末までは学生会員扱いとなります。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）より正会員となります。正会員年会費14,400円を2015年11月以降に請求させていただきます。

ご卒業やご就職による「住所・所属先・OR誌郵送先の変更」や「退会希望」については必ず事務局にご連絡ください。

## シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

## 特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

## 年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員14,400円、  
学生会員5,000円、  
シニア会員7,200円  
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492  
みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

\*手数料は払込人負担でお願いいたします。

\*お名前はフルネームでお書きください。

## 年会費の口座振替（正会員・シニア会員）

年会費の銀行口座自動振替ご希望の方は、事務局までご連絡ください。銀行所定の用紙をお送りいたします。（2016年度年会費からが対象となり、引き落としは2016年1月20日の予定です。）

## OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。

## OR学会創立記念日のお知らせ

5月23日(土)